

## 【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2023年5月24日
明治大学の所属学部・研究科	商学部(学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	年 月 日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input checked="" type="checkbox"/> その他:BHGAPに参加(実質ビジネススクール)
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:8月中旬～12月上旬      2学期:1月中旬～5月中旬 3学期:      ~                              4学期:      ~
学生数	45,057
創立年	1868年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル\$)	日本円	備考
授業料	\$43,300	円	バークレーで加入する保険料込み(\$1700)
宿舍費	\$14,280	円	私の寮は月ごとに払っていました
食費	\$3000	円	
図書費	\$200	円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	\$1000	円	
現地交通費	0	0円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	旅行の費用は抜いています。
被服費	\$500	円	
医療費	\$6	円	
保険費	約\$767	¥107,415円	形態: 明治大学提携の保険です。
渡航旅費	約\$1071	150,000円	日本円で取りました。
ビザ申請費	\$350	円	
雑費	\$500	円	コインランドリー、皿や棚など
その他		円	
その他		円	
合計	\$64,974	約 900 万円	\$1 = 140 円で計算 旅行の費用などは含めていません。

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地: 羽田空港 目的地: サンフランシスコ国際空港 経由地:	
復路 出発地: サンフランシスコ国際空港 目的地: 羽田空港 経由地:	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: United 航空 料金: ¥150,000 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(航空会社のサイト)	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮(寮の名前:The Berk(Off campus))      アパート      ホームステイ

2)部屋の形態

個室      相部屋(同居人数3人)

3)共有部分

バス      トイレ      キッチン(自炊可      自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学のホームページに掲載されていた、おすすめのアパートリストから申し込みました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の寮は大学から近く、ルームメイトもいい人たちでした。しかし、窓が一つしかなかったり、部屋の質的には割高だったと感じています。そのため、しっかりと時間をかけて探すことをお勧めします。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所:Carbon Health Urgent Care Berkeley)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし  
あり(問題の内容や相談した人等:TAとGSIによるストライキ)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

WarnMeという通知をメールで受け取ることができるので、危険なエリアを避けることができます。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学のWi-Fiが使用可能です。電波の接続状況で困ったことはありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地でBank of Americaの講座を開設し、送金してもらいました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

こだわりの洗顔剤など。それ以外は日本のものでもほぼ購入することができます。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に学校のポータルサイトを經由して支払いしました。私の場合は銀行送金で支払いをしました。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
28 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 28 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:履修の制限はありませんが、希望の授業を取れない場合があります。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Thriving at Haas and Beyond	スライビングアットハースアンドビヨンド
科目設置学部・研究科	Haas School of Business (BHGAP)
履修期間	秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面授業 講義&ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 6 回
担当教授	Natalie Brain
授業内容	自分のキャリアについて、企業見学なども含めながら考える授業
試験・課題など	授業ごとに授業で学んだ内容についてのレポートを提出(ワード 2 ページほど)
感想を自由記入	授業では自分のこれまでの性格などを見直し、将来のキャリアを見直したり、ストレスへの対処法を学んだりしました。プログラムに参加している全学生が集まる授業で、いろいろな生徒と話ができ、とても刺激的でした。この授業の時間を使い、プログラムではシリコンバレーにある企業の見学などにも行きます。ビッグテックをはじめとして、スポーツチームやコンサルなど、訪問できる企業の幅が広く、とてもためになりました。特に、サンフランシスコジャイアンツが行っているスポーツビジネスは印象に残っています。



履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Opportunity Recognition	機会認知
科目設置学部・研究科	Haas School of Business (BHGAP)
履修期間	秋学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Andrew Isaacs
授業内容	ベンチャー企業やスタートアップを、どのように成功へ導くかを学びます。
試験・課題など	学期を通して 5~6 冊の本とケースを読みます。それについてレポートを提出するのが課題で、期末は約 3000 words のレポートを提出します。
感想を自由記入	授業では、ベンチャー企業やスタートアップの経営戦略について学びます。この授業を担当している教授はとても有名な方で、熱量を持って熱心におしえてくれます。とても面白い授業でしたが、講義から学べることは少なく、リーディングから得るものが大きい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Marketing	国際マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas School of Business (BHGAP)
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Wasim Azhar
授業内容	各国のケーススタディーを交えながら、その国の文化とマーケティングについて考える
試験・課題など	ファイナルレポートと、チームプロジェクトが学期に 3 回。また、個人プレゼンなど
感想を自由記入	この授業は、私が受講した中では一番日本の授業に近く、ハンドアウトの用語などについて教授が解説を進めるというものでした。企業のケースについてのディスカッションもあり、さまざまな国籍の生徒の意見を聞くのはとても面白かったです。また、教授が日本好き?であるため、トヨタの JIT やアシックスについてプレゼンする機会をいただくことができ、いい経験になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Information Studies		情報学入門	
科目設置学部・研究科	School of Information		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Morgan Ames		
授業内容	情報の性質について学び、その扱い方について考える		
試験・課題など	毎週ワード 2 枚分のレポート、期末課題では下限 3000 words のレポートを提出		
感想を自由記入	情報科学に興味があり、他の授業とかぶっていなかったため、受講しました。しかし、内容は情報科学ではなく、情報の“扱い方”について考える授業で、正直一番退屈な授業でした。私たちが普段扱う“情報”というものについて、さまざまな角度から見つめ直すことができ、興味深い授業でしたが、他の授業受講をお勧めします。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Cubstart: Introduction to Building Apps		iOS アプリ開発入門	
科目設置学部・研究科	Decal		
履修期間	秋学期(3 週目あたりからスタート)		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義&ディスカッション/ラボ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 2 回		
担当教授	Tony Hong		
授業内容	iOS アプリ開発の手法である、SwiftUI の扱い方について学ぶ		
試験・課題など	毎回の課題提出、ファイナルチームプロジェクト		
感想を自由記入	SwiftUI を用いた、iPhone アプリの作成方法について学習しました。内容も興味深いものでしたが、グループワークを通じた、ネットワークングや共同開発経験が積める授業でした。これは Decal という生徒が行なっている授業であり、プレッシャーも少なく、楽しく受講できる授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Entrepreneurship		起業入門	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回		
担当教授	Aaron McDaniel		
授業内容	起業家精神や、スタートアップが初期で直面する問題を学ぶ		
試験・課題など	レポートやグループ課題の提出、最終日のプレゼンテーション		
感想を自由記入	<p>実際にチームメイトとビジネスを策定し、それを動かしていく、今までの中で一番実践的な授業でした。事業アイデアの発想法だけでなく、現状分析の方法など、他領域でも使えるスキルを身につけられた授業だと感じています。授業は事前の動画学習についての質問・ディスカッションから始まり、後半ではゲストスピーカーの体験談を聞くことができます。教授はとても良い人で、スタートアップだけでなく、キャリアについてのアドバイスもしてくれます。このプログラムに参加するのであれば、絶対に受講することをお勧めします。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Climate change and Business Strategy		気候変動と経営戦略	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Isaac Andrew		
授業内容	環境問題に対して、企業や行政が取り組むべき課題を学ぶ		
試験・課題など	各回のレポート提出、学期中に 2,000 words のレポートが 3 回		
感想を自由記入	<p>Opportunity Recognition の教授が、この授業も担当します。最初は現在起こっている環境変化や気候変動について、基本的な知識を学びます。その後、それを実際のビジネスに応用していく方法、企業が注視すべき点などを学んでいきます。また、現在行われている「カーボンプライシング」など、議論の余地がある問題についても、さまざまな意見を聞くことができます。教授はこの分野にパッションを持っており、とても詳しいですが、たまに熱が入り過ぎてしまうこともあります。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Marketing in World of Digital Disruption		デジタル変革期のマーケティング	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 210 分が 1 回		
担当教授	Peter Wilton		
授業内容	DX について、ケーススタディーを行う		
試験・課題など	レポートの提出、グループ課題の提出、最終日にプレゼンテーション		
感想を自由記入	「本当の DX とはなんなのか」について、考え直させられた授業でした。実際のケーススタディーを用いて、世界の企業が行ってきた DX(デジタル改革)を学んでいきます。また、マーケティングシミュレーションゲームを用いて、デジタルマーケティングを体験する回もあります。しかし、授業の主眼は DX に置かれている?ため、マーケティングの知識をえられる授業ではありませんでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Negotiation and Conflict Resolution		交渉と問題解決	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 3 回		
担当教授	Holly Schroth		
授業内容	ネゴシエーションの方法について学ぶ		
試験・課題など	各回の交渉相手の評価送信、レポートの提出		
感想を自由記入	この授業も、Introduction to Entrepreneurship に次いで実践的な授業でした。授業外で交渉の方法を予習し、ケースを用いてクラスメートと共に、交渉を行います。日本の授業と異なり、勝ち負けが出る授業であり、しっかりとした準備が求められます。交渉に対する理論を学ぶだけでなく、それを実践的に試す場がある、とても面白い授業でした。クラスメートと話す機会もたくさんあり、友達もとてもできやすい授業です。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Founders Workshop		ファウンダーズワークショップ	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Jonathan Heyne		
授業内容	スタートアップを立ち上げるために、資金調達の方法などを学ぶ		
試験・課題など	各回のグループ課題提出		
感想を自由記入	スタートアップの立ち上げから資金調達やアクセラレーターへの参加まで、全てのプロセスをカバーする授業です。クラスメイトの多くは自分のビジネスや構想があり、それを実践するための場でもありました。そのため、授業ないのでの質問は、「全員に学びがなくても、自分が聞きたいことを聞きなさい」というスタイルが取られており、個性的な質問や詳細な質問が毎回飛び交ってました。毎回異なるゲストスピーカー(VC 投資家や起業家など)から聞ける話も興味深かったです。また、教授はとて素晴らしい人です。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Pricing		価格法	
科目設置学部・研究科	Haas School of Business		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Yuichiro Kamata		
授業内容	企業が価格を決定するまでのプロセスを、理論的に学ぶ		
試験・課題など	各回の課題提出、中間・期末試験(中間は持ち込みあり)		
感想を自由記入	企業がどのような分析を行い、どのような意思決定を通して価格を決定するのか、学べる面白い授業でした。また、意思決定に関しての授業もあり、企業が価格を決定するまでに、さまざまな要素や意思決定を行なっていることがわかりました。この授業はアッパークラスのため、基本的な分析ができる前提でクラスが進んでいきます。また、教授は日本人の方であり、学生時代にアメリカの大学教授が出した論文の間違いを指摘した、など、興味深い経歴を持っておられます。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

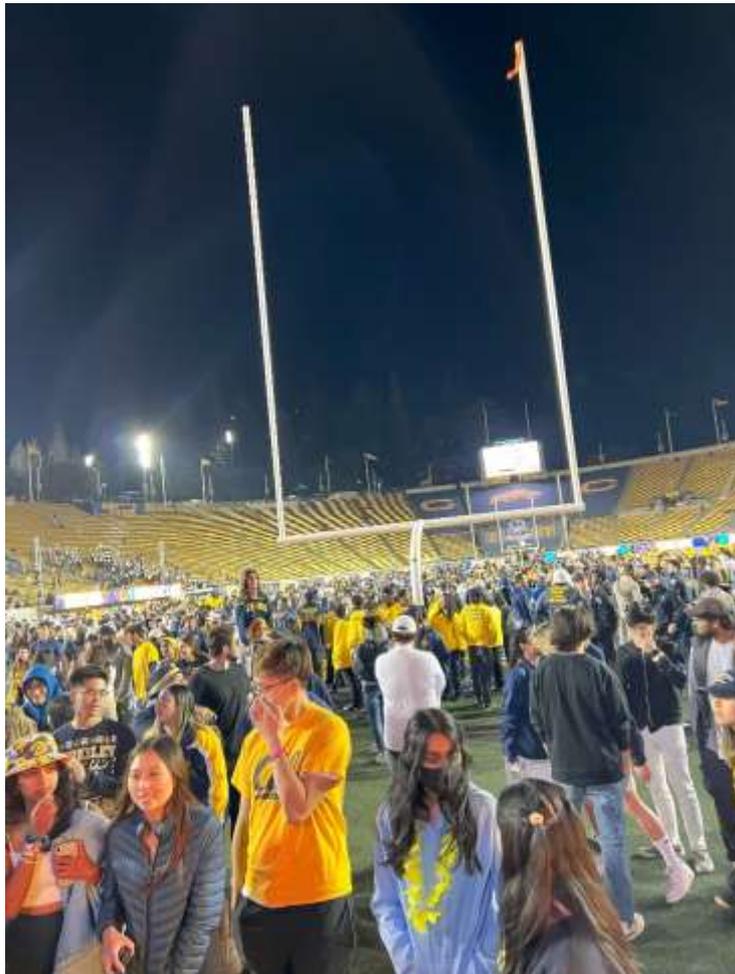


## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、  
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	英語の学習、TOEFL 受験
	4月～7月	英語の学習、TOEFL 受験
	8月～9月	英語の学習、TOEFL 受験&スコアメイク完了
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	出願、ビザ申請、航空券購入、予防接種、滞在先申し込み
	8月～9月	渡航
	10月～12月	授業&期末試験など(12月)
留学/帰国年	1月～3月	新学期開始
	4月～7月	期末試験など(5月)
	8月～9月	
	10月～12月	



## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

間違いなく、色の濃い最高な一年が過ごせました。周りにいる学生は全員レベルが高く、自分が見ていた世界がとても狭いものだったことを思い知らされる毎日でもありました。西海岸の挑戦的な雰囲気にも包まれたキャンパスで過ごした日々は、この先も忘れることがないと思います。

バークレーに留学をした理由

理由は二つあります。

一つ目は、シリコンバレーに近い、ダイナミックな環境に身を置きたかったということ。

二つ目は、レベルの高い環境に身を置きたかったということです。

UC Berkeley はサンフランシスコの近くに位置しており、車で一時間ほどでシリコンバレーに行くことができます。シリコンバレーは世界のイノベーションハブです。GAF A をはじめとするメガテックだけでなく、多くのスタートアップが存在しており、スピード感のあるダイナミックな環境が形成されています。その雰囲気を肌で感じたかったというのが一つ目の理由です。また、この大学はビジネス、コンピューターサイエンスなどの分野では、世界でも指を数えるほどの有名校です。興味のある分野で、レベルの高い学生と交流し、自分を高めたかったというのが二つ目の理由でした。

学習について

上述しましたが、この大学はビジネスとコンピューターサイエンスの分野で、とても有名です。アントレプレナーシップ(起業家精神)系の授業に力を入れており、それを目当てに留学をする人もいます。日本の大学では履修することができないような授業もたくさんあり、自分の視野を広げることができたと感じております。

生活について

学生同士の交流はとても盛んです。特に、私が参加していた BHGAP はいくつかの授業を同じ学生で取るので、交友関係がとても広げやすい場でした。

しかし、金銭面では円安と物価の高騰により、厳しい生活が強いられておりました。日本にいる感覚で買い物や外食を続けると、二倍の感覚でお金がなくなるイメージです。とても楽しい毎日で、お金を使う場面もたくさんあると思いますが、上記に注意していただければと思います。

終了後について

BHGAP では、二学期間の学習を終わらせると、アメリカで働ける権利(OPT)を発行してもらえます。最長で一年間働くことができ、大学では経験できないことをさせてもらえるのも、このプログラムの魅力です。仕事探しは大変でしたが、得るものも大きく、やってみてよかったなと感じております。少しでも興味があれば、チャレンジしてみてください。

最後に

少し意外だったことを書くと、バークレーには日本人の留学生在がたくさんいます。想像の5倍以上はいました。当初、英語力を上げるためにはなるべく日本人と話さないようにしよう、とも考えていました。しかし、留学を終えてみると、日本人との出会いは留学の中でも、大きな部分を占めるもので、個人的に一番の収穫でした。二つの側面もありますが、否定的にならず、日本人学生との出会いも充実させてください！

皆さんの留学生活が実りのあるものになるように、応援しています！何か質問があれば、いつでも答えるので、国際事務室か SNS で僕にメッセージをください！（報告書はこれからも追記をさせていただきます。）